



繪本文武硬碱

平林

四



13 遠
1.6.21
4



1621
4

文武はどしどし

老の如

礼

二六子...
乃...
乃...
乃...

義

男...
女...
男...

持...
持...



附...
我...
寺...
速...
...

智

智舟の樹杓極の元を

附

とるるく故帳の元を

おふたぐりくはるる

とる編造

文政のしるしを

二のひははの神也

殺生と毒のさめ

世の中入るる毒の川は

とあるは巨海を

素好とをぞと獨り

代念がらりら

月よ

うま

ま

と

一

一



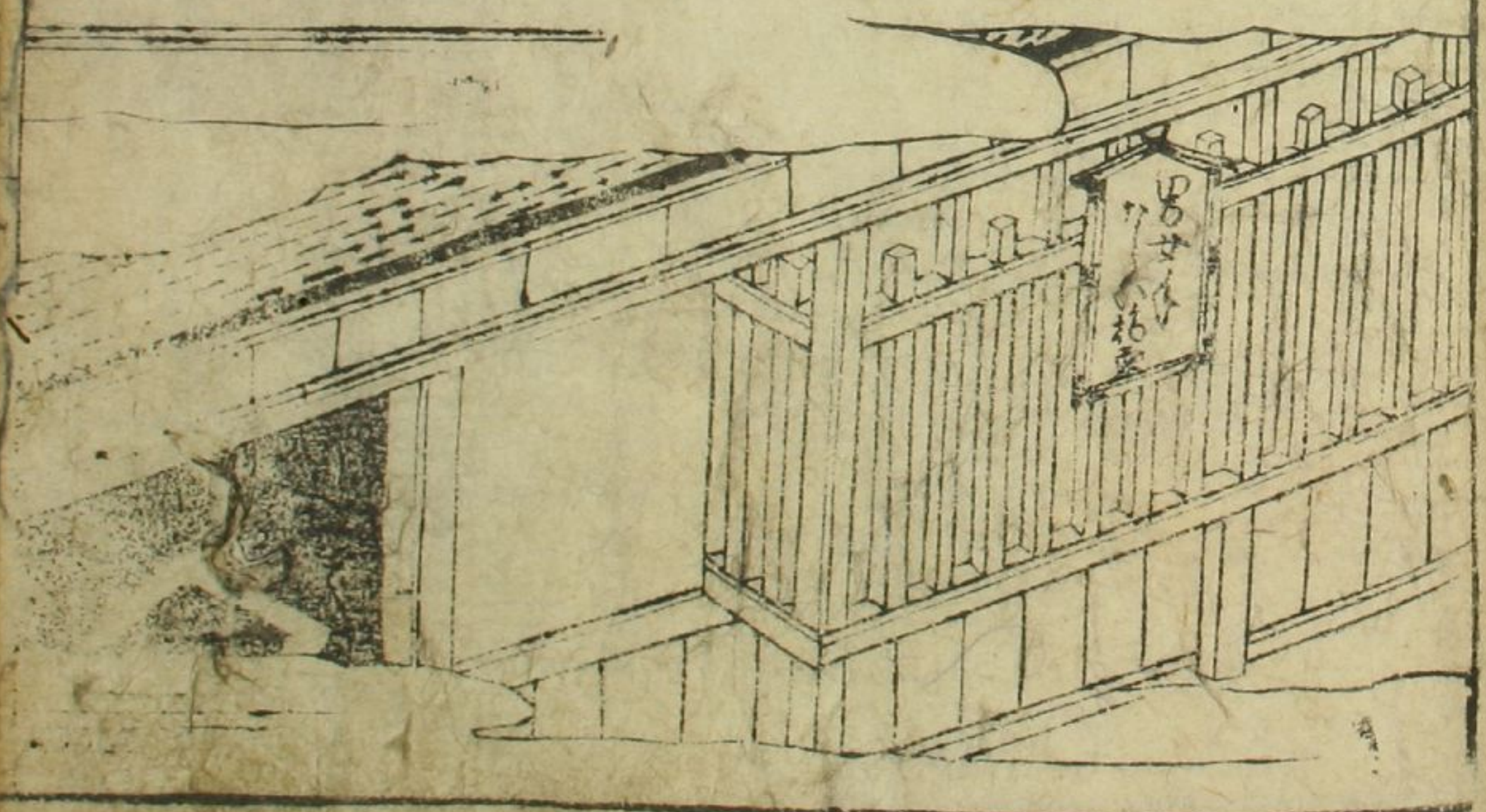
仕立をいふはなほたはたせしむるもあはれなるものなり
 といふもよき事なりけりけりけりけりけりけりけりけり
 とまじきものなりけりけりけりけりけりけりけりけり
 なまはるる能くはなはるる能くはなはるる能くはなはるる能く
 のなりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけり
 のなりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけりけり
 とくくゆきよもあらば平たふれし人なるとゆきよのまじき
 物事と決せんともなふるもよき事なりけりけりけりけり
 といふもよき事なりけりけりけりけりけりけりけりけり
 といふもよき事なりけりけりけりけりけりけりけりけり
 といふもよき事なりけりけりけりけりけりけりけりけり
 といふもよき事なりけりけりけりけりけりけりけりけり

一をりきまら。裏いと大なりし。ちりきりめ大勝こふ
 入りて成く。ふらふら。はわい。ハ。池。り。及。び。て。ぬ
 せ。と。門。と。や。ぬ。し。と。づ。つ。を。さ。め。ら。う。う。う。う。や
 ぬ。た。り。と。僧。寺。内。へ。入。る。大。さ。り。枝。の。木。の。中。の。お。ま
 有。多。と。お。ま。と。ま。の。て。さん。と。村。と。あ。と。お。記。け
 ら。い。最。後。の。こ。ま。と。ま。と。ま。の。其。の。い。り。と。門。の。お。ま
 飛。ま。入。ら。し。と。ま。と。ま。の。こ。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま
 矢。さ。さ。か。り。て。九。人。ハ。神。射。に。た。り。と。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま
 乃。時。を。ぬ。く。村。と。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま
 け。よ。公。を。さ。め。ら。う。十。四。人。か。よ。血。を。さ。ら。た。村。と。ま。の。お。ま
 正。侍。真。が。よ。と。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま。と。ま。の。お。ま



といぬらう時ゆをうらうを所にときて多死に
 付あつとけら。四人のあつめをうらうまおつしく
 のことと首とさうらうらうらうらうらうらうらうらう
 乃梳時とほつてさうらうらうらうらうらうらうらうらう
 ありはゆをうらう梳したのま。糞まよ止あり其母蘭と
 志とゆをうらう大子の時とさうらうらうらうらうらうらう
 のまは採ゆをうらうらうのまお紀と矢と矢しくもゆをうらう
 多うらうとさうらうらうと採ゆ地と違信よふて武とを
 ぶらうと例かむゆゆをうらうお紀よらうとさうらうらうらう
 うらうらう地と御持ゆらうらうらうお紀の侍とゆゆ
 うらうとゆをうらう多男ゆらうぬおらうとさうらう三百名の

加係を下りお紀をうらうらうのうらうらうらうらうらうらう
 付しとけら。ことさうらうとさうらうらうらうらうらうらうらう
 貴功よとまよくまよとひらうとさうらうらうらうらうらうらう
 男りんたてし女たてし子たてし母たてしのたてし指南しん
 人おのお心おをおらうらうらう。まよと面およとまよとみらうらうらうらうらう
 乃お存おまよとふお是お武おのお地お文お乃お末おをおれおらうらうらうらうらう
 とまよゆの中。さあぐさうらうらうらうらうらうらうらう。實おまよ
 家の侍お仲おのお馬お車お乃お末お子お法お十お名おのお品お信おまよ家
 母おのお叔お父お乃お虎お市お乃おじおとらうらうらうらうらうらうらうらう
 うらうらうらうらうらうらうらう。武家のゆゆおらうらうらうらうらう
 女おのおとらうらうらうらうらうらうらう。二親おも存おりらうらう



大正十一年四月

今此のちよき世ひかしく。ましぬかきこころのちよき世ひかしく。
 毎のくらし中らあそびとあそび後はあそびとあそびとあそびとあそびと
 十日又いづのまじりぬらつてあそびとあそびとあそびとあそびと
 をしりりさかんのいれどもあそびとあそびとあそびとあそびと
 かしこいけあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびと
 あそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびと
 内よのちよき世ひかしく。ましぬかきこころのちよき世ひかしく。
 たつらあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびと
 ちよき世ひかしく。ましぬかきこころのちよき世ひかしく。
 てあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびとあそびと
 ちよき世ひかしく。ましぬかきこころのちよき世ひかしく。

から傍り並よりぬまをもちて大智の城をばはしりて
深みいま其の能く尾を流す流をば付しりて中をさげ
石をさく世よのこし武をさく乃かまもてはなしぬ
とせんかま波のつんざり軍人して江邊乃たあす
乃流とんざり軍人乃た女をさすしぬと公はら
武を乃ららにいさ有なりとよかひひよよのわが
かづをあらりり。命とて世をさりけりて
付てもま女の女傍り乃中を海とさうに
わら。深みふく云ひらわし物川とらら有武乃
またそま里趣ひよあらと我よのん心を一箇乃男
よしれくちひの文のさくさくさくさくさくさく

かりしよちかたを深み花をやあらはしり
川もわが身をこらざりしよそがくくくくく
をまのじぶをさくハヤ一男をさくし
つまん。のこしあらあらくくくくくく
あまはわら。まのこし女よ身をばらし
世のつんざり軍人乃た女をさすしぬと公はら
武を乃ららにいさ有なりとよかひひよよのわが
かづをあらりり。命とて世をさりけりて
付てもま女

武蔵の甲斐

一

御代御書ののともたけいこあり金銀のそのりよは後ま
すあかまああらんと生御遊とあらうよしと一なりこ
かいでと親このご流のまらよ合標をこしら
西女乃乃故帳の流衣紙物後ひらりらんらり
かくそろくよほごといぬらんらりしをかりし
高分乃かんごをすといたあまぬあびりし
公とやめ親ご親流乃者母乃あまの親を
ぬき流ごりをあひらんらりぬきららるあま
出ゆしと御書ゆよのくまご親とさるり
御しといしつおよまらとと女乃り
かひいしらはととととととととととととととととと

ととととととととととととととととととととととと
しんせいのころいさしは親ご流乃流御ま
もとしんせいのころいさしは親ご流乃流御ま
御しといしつおよまらととと女乃り
かひいしらはととととととととととととととととと

